

プロジェクト名	<ul style="list-style-type: none"> ・無償資金協力「日中友好環境保全センター設立計画」(①) ・日中友好環境保全センタープロジェクト(②) ・日中友好環境保全センターフェーズⅡ(③) ・日中友好環境保全センターフェーズⅢ(④) 	
実施期間	①：1990年～1995年 ②：1992年9月～1995年8月 ③：1996年02月～2002年03月 ④：2002年04月～2006年03月(延長:2008年03月)	
支援機関	国際協力機構(JICA)	
形態	技術協力プロジェクト	
協力金額	<ul style="list-style-type: none"> ・無償資金協力：建物約60億円、機材約40億円 ・フェーズⅡ：機材供与 1.60億円 ・フェーズⅢ：協力金額6.8億円 	
対象地域	北京市	
中国側関係 機関	組織名	国家環境保護総局 日中友好環境保全センター
	担当部署、連絡先	
日本側関係機関	環境省、経済産業省	
上位目標	<ul style="list-style-type: none"> ・無償資金協力：センター建物の建設と機材の供与 ・フェーズⅠ：センター技術系職員への基礎的な技術指導 ・フェーズⅡ：センター主要機能(研究機能、研修(人材育成)機能、モニタリング機能)の強化 ・フェーズⅢ：日中友好環境保全センターの更なる機能強化(国家環境保護第十次五ヵ年計画(2001年～2005年)に掲げられた環境分野の計画達成にセンターが貢献) 	
プロジェクト目標	<ul style="list-style-type: none"> ・センターが中国の環境分野で、研究・研修・モニタリングにおいて指導的な役割を果たす(③) ・センターが中国の環境保全上の重要課題の解決に指導的な役割を發揮し、また、その成果を中国国内に展開することにより中国各地方の環境問題の改善に寄与する(④) 	
プロジェクトの成果	<ul style="list-style-type: none"> ・センターが日本・中国環境協力の拠点または窓口として名が高まる(③) ・環境影響評価法実施細則作成にセンターを始めとする機関が貢献(④) ・地方環境保護局指導者環境対処能力向上(④) 	
当該国への	法制度整備	環境影響評価法実施細則

パッケージ 施策展開に 関連する主 な取組	組織整備、人 材育成 技術開発・普 及	
提言事項		
参考文献、URL		JICA Knowledge site ¹
その他		<p>センターの活動については、下記のプロジェクトにおいても取組みが継続されている。</p> <p>「循環型経済推進プロジェクト」(2008年10月～2013年09月)</p> <p>上位目標： 汚染排出が抑制された環境にやさしい社会の実現に向け、環境保全の視点から循環経済関連の諸施策が推進</p> <p>プロジェクトの成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ センターが全国の環境教育基地を評価し、望ましい運営の方向性を提示できるようになる。 ・ センターの一部に日中環境技術情報プラザが整備され、国家レベルの環境教育基地のモデルとして機能する。 ・ センターが全国の環境教育基地の施設及び人材の情報を提供し、環境教育人材の育成を行う体制が強化される。

¹<http://gwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/VIEWParentSearch/5562A4170D4EAACB492575D100355C3B?OpenDocument&pv=VW02040104>
<http://gwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/VIEWParentSearch/7201F87E493D604F492575D100356472?OpenDocument&pv=VW02040104>